

令和5年度札幌市総合防災訓練

札幌市厚別区

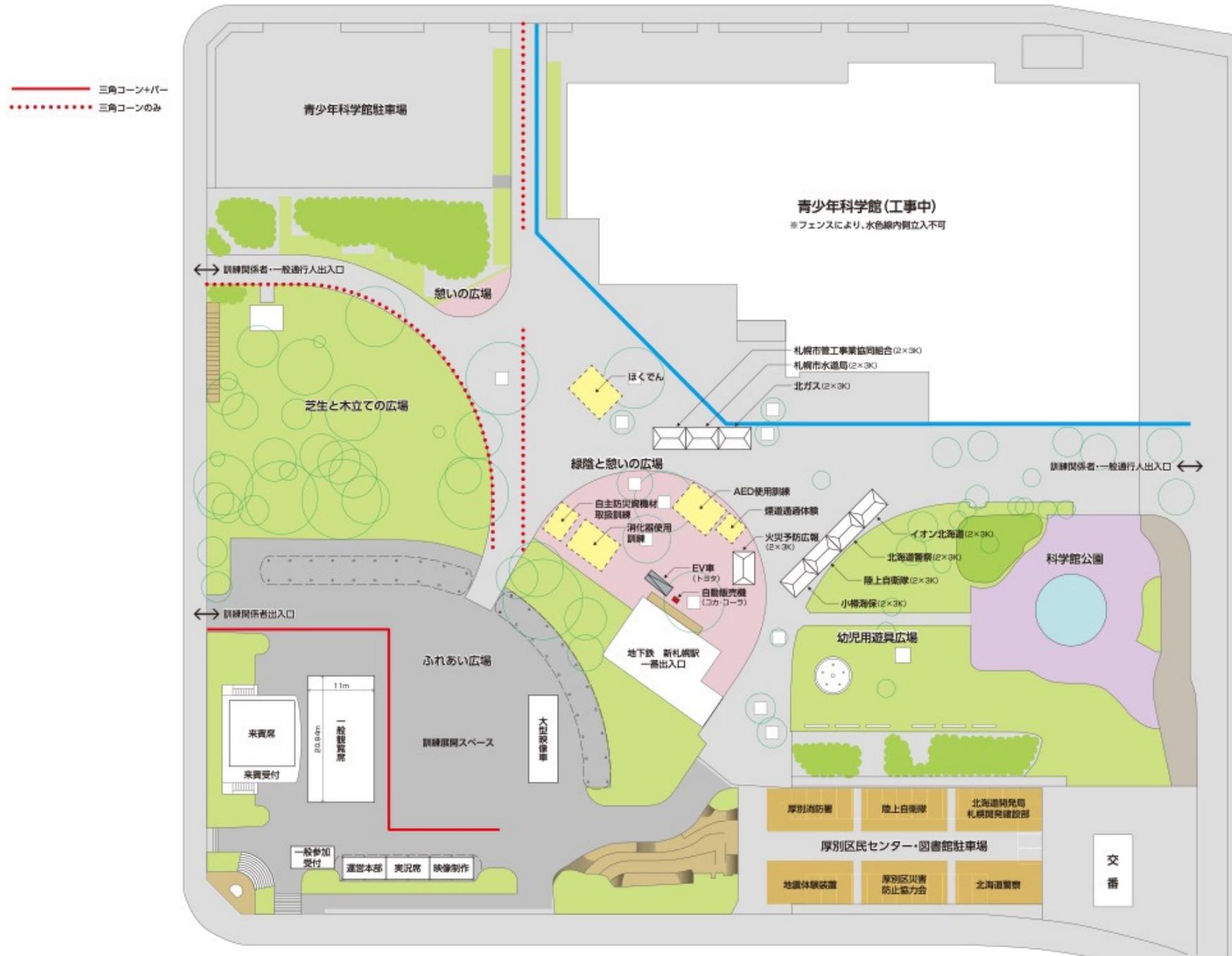
(ふれあい広場あつべつ、科学館公園、札幌学院大学及び札幌看護医療専門学校、厚別区民センター)

訓練進行台本

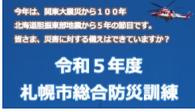
08/18	準備稿
08/24	第1稿
08/29	第2稿
08/31	第3稿
09/01	最終稿

【以降の修正は、現地にて手書き修正】

訓練スケジュール	
09:15~	・会場MC
09:28~09:30	・黙祷／平成30年9月6日北海道胆振東部地震犠牲者の黙祷
09:30~09:31	・シェイクアウト訓練／1分間／参加者が安全行動を取る
09:30~09:40	・会場近隣の避難訓練
09:32~09:35	・厚別区災害対策本部設置運用訓練
09:35~09:40	・地域連携救出消火訓練
09:40~09:45	・被害状況把握、情報収集伝達訓練
09:45~10:30	・現地合同調整所訓練
09:48~09:55	・道路啓開、救出訓練
09:55~10:30	・応急救護所設置、トリアージ訓練
10:08~10:20	・ヘリ救出訓練
10:20~10:30	・救出、消火訓練
10:30~11:40	・体験型訓練
11:40~11:45	・閉会式 ▷講評／札幌市長 秋元克広



TIME	SCENE	台本	メインビジョン	スーパー	テロップ	音響
09:15 09:20	1 MC A ↓ 続けて	MC 「令和5年度札幌市総合防災訓練にご参加の皆様、ご来賓の皆様にご案内いたします。ふれあい広場ステージ側にご受付カウンターがございますので、受付がまだお済みでない方がいらっしゃいましたら、受付カウンターまでお越しいただき、訓練開始までお席にてお待ちください。」	メインタイトル			MC
	2 MC A ↓ 続けて 3 MC B	MC 「令和5年度札幌市総合防災訓練にご参加の皆様にご案内致します。 本日の訓練は、9:28より『平成30年9月6日に発生しました北海道胆振東部地震』において犠牲となりました方々へ黙祷を捧げましたのち、9:30より訓練開始となります。 前半の9:30から10:30までは、消防、警察、自衛隊など関係機関が連携して災害対応訓練を行い、後半の10:30からは、地域住民の方々を中心に、AEDや消火器の使用方法を学んでいただくほか、煙道（えんどう）の通過や地震の揺れの体験していただくなどの体験型の訓練を行います。後半の体験型訓練は、この広場のパーゴラよりも外側の科学館公園内や道路を挟んで向こう側の厚別区民センターの各所で行いますので、訓練各機関関係者の皆様は持ち場にて待機してください。 9:30から行う最初の訓練はシェイクアウト訓練となります。シェイクアウト訓練とは『その時にいる場所で地震が発生したとの想定で、とっさに身を守る』訓練です。会場内の皆様にご参加いただく訓練になりますので、皆々様、開始の合図がありましたらその場にて頭を守るなど、防御の姿勢を取って訓練にご参加下さい。」	MC 2 S	アナウンサー		MC

TIME	SCENE	台本	メインビジョン	スーパー	テロップ	音響
09:28	4 MC B 2 回目の 3 MCから 続き ※適宜	MC 「会場の皆様にご案内致します。 間も無く黙とうを開始いたします。訓練ご参加の方は受付のうえ ご着席ください。関係機関の皆様は持ち場にて待機をお願いいたします。」	メインタイトル			MC
	5 MC A	GQ/札幌市「鈴木」▷YC櫻井▷YC込堂 MC 「只今より、令和5年度札幌市総合防災訓練を実施させていただきます 訓練に先立ちまして、平成30年9月6日に発生しました北海道胆振東部地震で 犠牲になった方々へ黙祷を捧げたいと思います。 皆様、脱帽の上ご起立願います。 黙祷！」 (1分間)	テロップ 黙祷 LIVE	黙祷		MC
	6 MC A	「お直りください。ご着席願います。」				MC
	7 MC A	MC 「この後は、会場内の皆様とシェイクアウト訓練を行います。 シェイクアウト訓練とは、『その時にいる場所で地震が発生した との想定で、とっさに身を守る』訓練です。大型ビジョンにも 緊急地震速報が流れます。緊急速報音などで気分が悪くなる状況も 考えられますので、皆様は落ち着いてその場で安全行動を取ってください。 先日、9月1日は防災の日でした、この防災の日は1923年9月1日に発生し 10万5千人余りが犠牲となった関東大震災の教訓を忘れずに災害への備え を怠らないよう、心構えを準備する日として創設されました。 また、今年はこの関東大震災から100年目にもあたります。」	メインタイトル			MC

TIME	SCENE	台本	メインビジョン	スーパー	テロップ	音響
09:30	8 MC B	<p>GQ/札幌市「鈴木」▷YC櫻井▷YC込堂</p> <p>MC 「これは訓練です、これは訓練です</p> <p>これは訓練です、これは訓練です 只今、大きな揺れが発生しました。身体を低くして身を守る行動を取ってください。上からの落下物にも注意してください。 身を守る行動を取ってください。 今、自分がいる場所で身体を低くして身を守る行動を取ってください。」</p> <p>※MCコメント開始から1分間</p>	<p>テロップ シェイクアウト</p> <p>緊急地震速報</p>	<p>シェイクアウト 訓練</p>		<p>MC</p> <p>緊急地震速報音 SE/6sec</p> <p>SE/地震音</p> <p>緊急地震速報音 SE/6sec</p>
09:31	9 MC B	<p>MC 「只今、揺れがおさまったようです、揺れがおさまったようです 以上で、シェイクアウト訓練を終了いたします。」</p>	<p>メインタイトル</p>			<p>MC</p>
	10MC B	<p>MC 「本日は、この会場近隣にあります、ひばりが丘小学校、札幌学院大学、サンピアザ、地下鉄新札幌駅、JR新札幌駅にて地域の皆様や外国人留学生、学生による避難訓練が同時に行われており、9：40頃にこの訓練会場に到着予定となっております。」</p>				<p>MC</p>

TIME	SCENE	台本	メインビジョン	スーパー	テロップ	音響
09:32	11MC B	MC 「札幌市が定める災害対策本部の設置基準は、札幌市域内において震度5弱以上の地震が発生した場合としています。震度5弱の地震が発生した場合は「第1非常配備」として職員の1/3以上で、震度5強の地震が発生した場合は「第2非常配備」として職員の2/3以上で、震度6弱以上の地震が発生した場合は「第3非常配備」として全職員で、区役所においては避難所の開設・運営など、土木センターにおいては道路に損害があった場合の応急対応などの対応にあたります。	テロップ 災害対策設置	札幌市災害対策本部設置基準		MC
09:35		皆様、大型ビジョンをご覧ください。 厚別区災害対策本部の確立と各関係機関への情報伝達、協力要請及び区本部各班への指示等の訓練の様子をご覧ください」 ※『厚別区災害対策本部設置運用訓練』 → 関係する部課長が数人でマイクを回して対応する（別台本） ※厚別区役所部長職/4名	LIVE/MC			
			LIVE 運営本部 4名	厚別区災害対策本部設置・運用訓練		MIC*4本 位置/運営本部

TIME	SCENE	台本	メインビジョン	スーパー	テロップ	音響
09:35	12 MC A	MC 「地域連携救出消火訓練が行われます。 会場内に、札幌ハイヤー協会のタクシーが入ってきました 業務中に発災し、地域の被害を目撃したため現場に駆けつけたものです。」	テロップ 地域連携 LIVE タクシー進入	地域連携救出 消火訓練		MC
	13 MC A	MC 「火災が発生しています。札幌学院大学の学生、札幌看護医療専門学校の教員 札幌副都心開発公社、地下鉄職員・JR社員も駆けつけて 初期消火をおこなっています。 大規模な地震が発生した時、被害を増幅させるのが火災です。 100年前の関東大震災においても火災で10万人以上の方が亡くなりました。 初期段階で火災を食い止めましょう。」	LIVE 初期消火活動			MC
	14 MC A	MC 「続いて、家屋が倒壊し棚が倒れている想定で、町内会で持っている 防災資器材を使用し、負傷者の救出活動を行います。 5年前の北海道胆振東部地震において、札幌市内で観測史上最大の「6弱」の 揺れを確認しています。人的被害を軽減する手段として、 まず皆さんが出来ることは「家具の転倒防止」ではないでしょうか？ ご自身、ご家族、事業所の従業員・社員を守るための備えとして 出来ることから始めて下さい」	LIVE 防災資器材 救出活動			MC
	15 MC A	MC 「救出した負傷者に対して応急処置を行なっています。 負傷者を札幌ハイヤー協会のタクシーに乗せて、厚別区内の病院に向かう 準備をしているようです。このような大規模な災害が発生した場合、 救急車がすぐに現場に駆け付けられるとは限りません。 発災時は、住民の皆さん、地域が協力して初期対応を行う 自助・共助を忘れないでください。	LIVE 応急処置			MC
	16 MC A	【止血作業終了確認後】 MC 「地域の連携により、負傷者を乗せたタクシーが無事病院へ向かいました。 厚別郵便局員も、他の災害状況を確認に会場を出ていきます。」	LIVE タクシー搬送			MC
09:40						

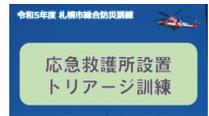
TIME	SCENE	台本	メインビジョン	スーパー	テロップ	音響
09:40	17 MC A	MC 「続きまして、被害状況把握・情報収集伝達訓練が行われます。 会场上空をご覧ください。只今、小樽海上保安部のヘリコプターが 上空から被害状況の確認を行っています。」	テロップ 被害・情報 LIVE 上空ヘリ	被害状況把握 情報収集伝達 訓練		MC
	18 ヘリ無線	ヘリ無線 「訓練・訓練、こちら海上保安庁函館航空基地913 只今厚別区上空を調査中、現在までに札幌市の幹線道路で渋滞を確認した 緊急車両出動に影響あり。調査を継続、被害状況把握を行う」 ※ヘリ上空通過後、ドローン離陸		小樽海上保安部 ヘリコプター		ヘリ無線
	19 MC A	MC 「続いて、会場左手をご覧ください。現地合同調整所から札幌市消防局の ドローンが被害状況を確認しています。札幌学院大学で多数の負傷者を 確認しているようです。ドローンは映像だけではなく、音声スピーカーを 搭載しており、音声による活動も可能です。」	LIVE 操縦者 ▷ドローン ▷転送映像	札幌市消防局 ドローン ドローンからの 映像		MC
	20 ドローン 音声	ドローン音声 「こちらは、札幌市消防局のドローンです。札幌学院大学の方、 負傷者は分散せずに、一カ所に集まるようにご協力ください。 後ほど救出に向かいます。」				ドローン音声 LINE 無し
09:43	21 MC A	MC 「災害時は電柱や倒木により道路が塞がる場合や、家屋が倒壊するなどして、 緊急車両が災害場所まで近づけない場合があります。そこで、ヘリや ドローンを使って、上空から被害状況を把握することで全体像を 掴むことができ、防災関係機関は災害対応に繋がっていきます。」	LIVE ドローン	被害状況 情報収集伝達 訓練	MC	
	22 MC A	MC 「続いて、地上からの被害状況把握と情報収集のため、先行部隊の警察、 自衛隊の各バイク隊、消防小型救助車両が会場に入ってきました。 狭隘（きょうあい）な道路や悪路での情報収集活動を 迅速に行うことができます。バイク隊は地域の方々からの被害状況の 情報収集を行い、消防小型救助車両は地域住民への 広報を開始しました。」 ※会場進入した消防小型救助車両からの広報活動	LIVE 状況聞き取り LIVE 広報車両		MC	

TIME	SCENE	台本	メインビジョン	スーパー	テロップ	音響
09:45	23 消防	消防 「訓練・訓練 こちらは札幌市消防局です。現在、市内において災害が多数発生しています。被害拡大を防ぐために地域住民・各事業所の皆さんで協力して、可能な限り初期消火や救護活動を行ってください。ご自宅や事業所が危険な状態であれば、災害から身を守るために学校や区の体育館へ避難してください」	LIVE 上空ヘリ	札幌市消防 航空隊 ヘリコプター		MC
	24 MC A	MC 「会场上空をご覧ください。ただいま、札幌市消防航空隊のヘリが上空から状況確認を始めました」				MC
	25 ヘリ 無線	ヘリ無線 「訓練・訓練 こちらは札幌消ヘリ 厚別中央付近の情報を送る。札幌学院大学で約30名の負傷者を確認 警戒情報、倒木による道路の寸断あり」		被害状況把握 情報収集伝達 訓練		ヘリ無線
	26 MC A	MC 「先ほど、地域住民から被害状況の情報収集を行った陸上自衛隊、北海道警察本部の各バイク隊と消防局が情報の共有と集約を行っています」	LIVE 状況聞き取り			MC
	27 消防 無線	消防 「訓練・訓練 こちらは中央救助 厚別中央付近の被害状況を報告する。倒木や家屋が倒壊しており各地区で多数の負傷者が発生している模様。 なお、ふれあい広場で救急対応可能と思われる。 医療機関に伝達願う」	LIVE 倒壊状況			消防無線
	28 MC A	MC 「自助・共助から、公助に移行で、防災関係機関が連携を開始していきます」	メインタイトル			MC

TIME	SCENE	台本	メインビジョン	スーパー	テロップ	音響
09:45	29 MC B 30 エリア決定	<p>MC 「現地合同調整所では、消防・警察・自衛隊・医療機関がこれまで報告された被害状況を共有し、各機関の活動エリアと役割を決定していきます」</p> <p>消防(消防持ち込み/ワイヤレスマイク&スピーカー使用) 「訓練・訓練 札幌学院大学で約30名の負傷者が発生しています。二次災害に注意しつつ、人命救助最優先の活動を行ってください。札幌市厚別消防署、江別市、北広島市の消防隊は札幌学院大学側に部署して情報収集と負傷者対応を行ってください。</p> <p>警察も同じく札幌学院側に部署し屋上の負傷者救出を消防の救助隊と連携して行ってください</p> <p>自衛隊は厚別区災害防止協議会と連携して、札幌学院の倒木の下敷きになっている負傷者を救出してください。消防と医大DMATも向かいますので、救出後に引き継いでください。</p> <p>医療機関は関係機関と連携して負傷者の処置を行なって下さい。負傷者が多数いるため、重病者を優先的に病院搬送します。重病者は、ふれあい広場の応急救護所で処置します。</p> <p>重病者の担当は、札幌徳洲会の救護班、医大DMAT、新さっぽろ病院、新さっぽろ脳神経外科で処置して下さい。</p> <p>中等症はふれあい広場の黄色ポスト、軽症は緑ポストに運びます。これらの担当は、新札幌整形外科病院、災害支援ナースさんと看護学生が補助で処置して下さい。</p> <p>消防・自衛隊が連携して負傷者を運んできますので、医療機関は円滑に病院搬送するための処置をよろしくお願いいたします。</p> <p>消防・警察・自衛隊は活動状況を随時、現地調整所に報告してください。消防隊と救急隊の現場到着までは約7分です。それでは、活動場所に移動して下さい。」</p>	<p>テロップ 現地合同</p> <p>LIVE 図面を活用している関係機関</p> <p>LIVE ・指揮者 ・関係機関 *ルーズ</p> <p>※状況により メインタイトル 差し込み</p> <p>LIVE 移動状況</p>	現地合同調整所 訓練		<p>MC</p> <p>消防簡易PA 使用 ※道路啓開 場所 ※消防SP 会場に向ける 又は、無線</p> <p>※状況により FOあり</p>

TIME	SCENE	台本	メインビジョン	スーパー	テロップ	音響
09:48	31 MC B	MC 「複数の関係機関が連携して災害活動を行うためには、共通認識と意思の疎通が必要になります。このようにして情報を共有し、役割を明確にします。」 ※道路啓開訓練へ時間【09:48】で切り替え	(MC) (メイン タイトル)	現地合同調整所 訓練		MC

TIME	SCENE	台本	メインビジョン	スーパー	テロップ	音響
09:48	32 MC B	MC 「現地合同調整所から指示を受けた自衛隊が、厚別区災害防止協力会とともに倒木現場に到着したようです。道路が塞がれており、緊急車両の妨げになっています。」	テロップ 道路啓開 LIVE 現着する ・自衛隊 ・協力会	道路啓開 救出訓練		MC
09:49	33 MC B	MC 「自衛隊員が倒木の下敷きになっている負傷者を確認したようです。厚別区災害防止協力会協力して、救出活動を開始する模様です。」	LIVE 倒木負傷者			MC
09:51	34 MC B	MC 「ただいま、自衛隊員がチェーンソーで倒木を切断し、負傷者を救出しました。DMATが現地で処置を開始するようです。災害急性期に活動できる機動性を持ったトレーニングを受けた医療チームと定義されており、医師、看護師、業務調整員で構成され、大規模災害や多数の傷病者が発生した事故などの現場に、急性期（概ね48時間以内）から活動できる機動性を持った専門的な訓練を受けた医療チームです」	LIVE チェーンソー ▷救助 ▷引継ぎ			MC
09:53	35 MC B	MC 「厚別区災害防止協力会の重機により、路上の倒木を動かすようです歩道に押し上げることで道路啓開を行います。」	LIVE 搬送車両 ▷除去作業			MC
09:54	36 MC B	MC 「ただいま、厚別区災害防止協力会により倒木が移動され、緊急車両の通行が可能となりました。」				MC

TIME	SCENE	台本	メインビジョン	スーパー	テロップ	音響
09:55	37 MC A	MC 「現地合同調整所から指示を受けた防災関係機関の車両が現場に向かって出動してきました。厚別消防署、北広島市消防本部、江別市消防本部の消防隊、北海道警察本部の救助隊が札幌学院大学に向かいました。」	テロップ 応急救護所	応急救護所設置 トリアージ訓練		MC
	38 MC A	MC 「ふれあい広場には、札幌市消防局の救急隊、医師を乗せた札幌市立病院のドクターカー、札幌徳洲会救護隊、医大DMATのエクモカー、自衛隊の救護隊が到着しました」	LIVE 現着車両			MC
09:56	39 MC A	MC 「札幌学院大学では、厚別消防署と北海道警察本部の救助隊が学校関係者から情報収集を行なっています。消防隊は負傷者に呼びかけを行い、歩ける学生と歩けない学生に振り分けているようです。」	LIVE 選別 ▷歩行移動 ▷担架搬送			MC
	40 MC A	MC 「消防隊・消防団・自衛隊が連携し、安全な場所まで負傷者を担架搬送していきます。」	LIVE 担架搬送			MC
09:57	41 MC A	MC 「軽症の歩ける学生が、処置場所へと向かっています。負傷者は緊急度別に色分けされます。自力で歩ける軽症者は緑色、自力では歩けないが意識のある中等症は黄色、意識無しは赤色で、応急処置所内で処置されます。」	LIVE ルーズ			MC
09:59	42 映像素材	映像素材／救出場所での活動方針	映像素材			素材音声
	43 MC A	MC 「緑色の軽症、黄色の中等症の処置にあたるのは、北海道看護協会から派遣された災害支援ナース、新札幌整形外科病院、札幌看護医療専門学校の学生が行います。」				MC

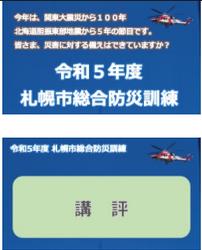
TIME	SCENE	台本	メインビジョン	スーパー	テロップ	音響
10:02	44 MC A	MC 「担架搬送された負傷者を救急隊に引き継ぎ、トリアージを行なっていきます 大規模な災害時は、限られた医療資源を最大限活用するため、 重症度や緊急度に振り分けて、治療の順番・搬送の順位・ 搬送先医療機関の選定を行い、医療従事者による応急処置を受けた後に 救急車で医療機関に搬送していきます。 このような対応をトリアージと呼び、大規模な災害時に 少数の医療従事者が多数の負傷者に対応する方法です。」	LIVE トリアージ			MC
10:04	45 MC A	MC 「応急救護所内では、DMATにより、先ほど倒木の下敷きから救出された 負傷者の処置が開始されています。 エクモカーの中でも処置を行うようです。」	LIVE エクモカー内 処置			MC
10:06	46 MC A	MC 「応急救護内では、重症者の処置を札幌徳洲会病院、新さっぽろ病院、 新札幌脳神経外科病院、市立札幌病院、そして救急隊員が連携を図り 処置を行なっています。」	LIVE ▷応急救護 ▷重症者処置			MC

TIME	SCENE	台本	メインビジョン	スーパー	テロップ	音響
10:08	47 MC B	MC 「上空には、札幌学院大学屋上に取り残された要救助者を救出するため札幌市消防局消防航空隊と北海道防災航空隊のヘリが到着しました」	テロップ ヘリ救出 LIVE 上空ヘリ	ヘリ救出訓練		MC
	48 MC B	MC 「北海道防災航空隊と札幌市消防航空隊が連携して救助活動を行います。札幌市消防航空隊のヘリコプターからの映像が大型モニターに映し出されています。」	ヘリテレ HDMI&RCA	札幌市消防 航空隊ヘリコプ ターからの映像		MC
10:12	49 MC B	MC 「ワイヤーで繋がれた北海道防災航空隊の隊員が屋上に到着しました。逃げ遅れた要救助者と接触し、救出準備を行います。」 ○北海道防災航空隊ヘリから隊員が屋上へ降下 ▷要救助者の救助準備 ○北海道防災航空隊ヘリ離脱	LIVE ヘリ降下	北海道防災 航空隊 ヘリコプター		MC
10:17	50 MC B	MC 「札幌市消防航空隊の隊員も、屋上で活動を行うようです。隊員による連携活動をご覧ください。」 ○札幌市消防航空隊ヘリが屋上でホバリング ▷隊員降下▷要救助者ホイスト	LIVE ▷降下 ▷ホイスト			MC
10:19	51 MC B	MC 「いま、ワイヤーに繋がれた札幌市消防航空隊の隊員が、取り残された要救助者をヘリに収容開始しています。ヘリの機動力を生かし災害時は被害状況の把握から、救助活動を行う、心強い市民の味方です。」	LIVE 救助	札幌市消防 航空隊ヘリコプ ター		MC
10:20	52 MC B	MC 「只今、無事に要救助者をヘリに収容し、市内の医療機関へ搬送開始されました」 ※ヘリテレ映像受け内容 ・ 隊員降下～要救助者救出～機内収容				MC

TIME	SCENE	台本	メインビジョン	スーパー	テロップ	音響
10:20	53 MC A	MC 「厚別消防署と北海道警察本部の救助隊が連携して、 高所から要救助者を救出する訓練を行います。」	テロップ 救出・消火 会場俯瞰	救出・消火訓練		MC
	54 MC A	MC 「厚別消防署の救助隊が活動を開始しました。地上からはしご車が はしごを伸ばしています。。屋上までは電線障害があるため、建物の 近くまで寄せることが出来ず、ロープを使用した救出活動を行います」	映像素材 LIVE はしご車			MC
10:22 or 10:23	55 MC A	MC 「只今、救助隊員により、要救助者を担架に収容し、 まもなく救出されるようです」	LIVE 救出			MC
10:24	56 MC A	MC 「只今、厚別消防署の救助隊により、要救助者1名の救出が完了しました 続いて、北海道警察本部の救助隊が、もう1名の救出活動を開始します」				MC
	57 MC A	MC 「北海道警察本部の救助隊は、地上の救助車両を活用し屋上から ロープを張りロープのラインに沿って救出する準備をしています」	素材			MC
10:26	58 MC A	MC 「只今、要救助者を乗せた担架をロープのラインに沿って救出を開始しました。 隊員が担架の介添えをして、地上へ向かっています。 ＜隊員が地面についたら＞ これを持って全ての要救助者の救出が完了しました」	(メイン タイトル)			MC
10:27	59 MC A	MC 「只今、応急救護所からI街区（アイガイク）への分散搬送が開始されました」 ※30~60SEC				MC 素材音声あり
	60 MC A	MC 「I街区（アイガイク）は、令和3年に再開発された地下鉄新札幌駅東側地区で 現在、4病院施設とホテル、商業施設、駐車場がアクティブリンク 空中歩廊（くうちゅうほろう）で接続されており、診療科目の違う 大規模な災害医療告示病院や小さなクリニックが多数、 建物に集約されています。救出訓練が行われている札幌学院大学は G街区（ジーガイク）と呼ばれており 札幌看護医療専門学校とともに、街を若くしています。」				MC

TIME	SCENE	台本	メインビジョン	スーパー	テロップ	音響
10:30	61 MC A	MC 「火災が発生したため、厚別消防署の救助隊が高所から緊急脱出を行います」	LIVE 放水作業	一斉放水		MC
	62 MC A	MC 「救助隊の緊急脱出が終わり、厚別消防署、北広島市消防本部、 江別市消防本部が連携して一斉放水を行います。」 ○サイレンアンプを鳴らしながらの一斉放水 ▷消防航空隊のヘリが札幌学院大学からふれあい広場の上空を通過 (訓練終了の合図)	LIVE 上空ヘリ			MC
	63 MC A	MC 「無事、消火を終えて全ての訓練が終了しました。」	メインタイトル			MC

TIME	SCENE	台本	メインビジョン	スーパー	テロップ	音響
10:30	64 MC B	MC 「以上を持ちまして、前半の部の関係機関による連携訓練を終了致します。」	メインタイトル			MC
	65 MC B	MC 「この後の後半の部では、地域住民の方々を中心に、AEDや消火器などの使用方法を知っていただくほか、煙が充満した通路の通過や地震の揺れの体験をしていただくなど、体験型を中心とした訓練を行います。この体験型訓練は、隣接する科学館公園内や、道路を挟んで向かい側の厚別区民センターでも行います。 訓練に参加される方には、受付の際にお配りしてあります1班～6班と記載された名札とお手元のプログラムの裏面「車両等展示、体験訓練（訓練項目㊸）」にお示しする表にあります訓練項目とお時間のおり実施されますので、それぞれの誘導員に従ってグループ毎に訓練開始場所へ移動してください。 また、ご来賓や一般参観の皆さまにおかれましても、科学館公園と区民センター内で行われる訓練や各展示ブースをご自由にご見学いただければと思います。なお、11:40から、市長による講評がありますので、お時間までにご着席ください。」	テロップ 体験型訓練			MC
10:30 ～ 11:35		・体験型訓練の様子をリアルタイムで大型ビジョンに送出 ※MC実況コメントなし	LIVE 展示会場	体験型訓練		
11:35	66 MC A	MC 「以上をもちまして全ての訓練を終了いたします。 11:40から、市長による講評を行います。 札幌市役所職員の皆様は、大型ビジョンに向かって一般観覧席の右側に緑色のテープを貼っておりますので、テープを先頭に整列してお待ちください。 訓練参加者及び訓練協力機関の皆様は、大型ビジョンに向かって左側に青色のテープを貼っておりますので、テープを先頭に整列してお待ちください。」	メインタイトル			MC

TIME	SCENE	台本	メインビジョン	スーパー	テロップ	音響
11:40	67 MC A	MC 「只今より、市長による講評を行います。 秋元札幌市長、お願い致します」	メインタイトル			MC
11:45	68 講評	講評／札幌市長 秋元克広	LIVE 講評 参加機関	講評		講評者MIC
11:45	69 MC A	MC 「訓練参加機関の皆様お疲れ様でございました。 ご来場頂きました札幌市民の皆様も、この訓練を機に是非、ご家族やお仲間同士で防災についてのご理解を深めて頂けますようお願い致します。 最後に、札幌市からのお知らせです。 9月8日から10日にかけて、札幌駅前地下歩行空間にて令和5年度『チカホ防災展』を開催致します。 北海道胆振東部地震パネルの他、備蓄物資や段ボールベットなどの展示を行いますので、是非会場へ足をお運びください。 お帰り際には、お忘れ物などなさいませんよう、今一度お手回品をご確認ください。 本日は、令和5年度札幌市総合防災訓練にご参加いただき誠にありがとうございました。」	メインタイトル	講評 札幌市長		MC
11:50	MC Out	MC Out <CAM／展示会場内雰囲気収録>	映像送出Out ▷Vision Down ※MCの 終了コメント から5分後			MIC Out